

アークスタッド異種材接合法

【開発フェーズ】

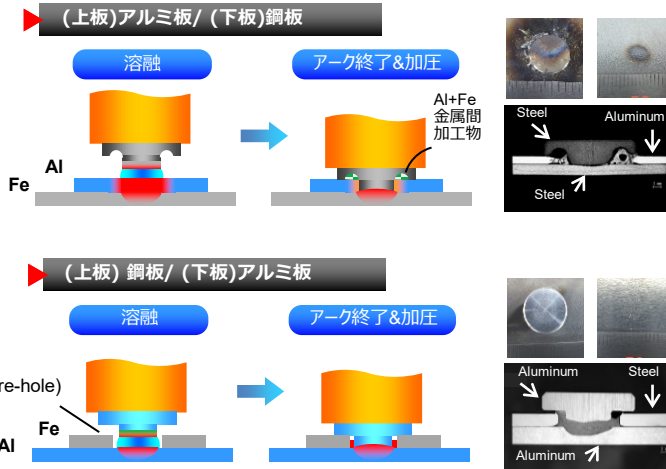
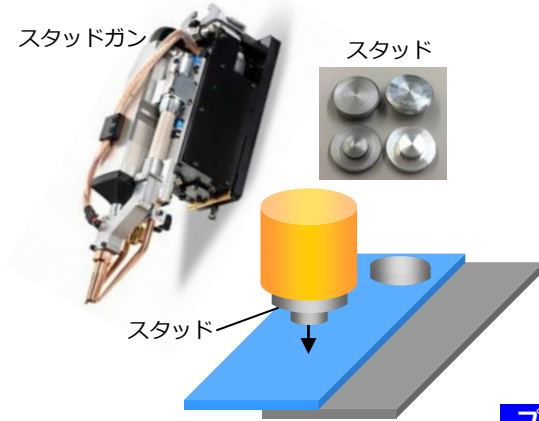
- ・基礎検討
- ・開発中
- ・開発完了

効果

- ・ 高速かつ簡易に異種材接合が可能
- ・ 補修用途に好適

ポイント

メカニズム



プロセス的特徴

スタッド(リベット)自身がアークを発生し、部分的消耗電極となる。

特徴

- 1) 高速で接合可能 (1点当たり100 ms以下)。
- 2) 超高張力鋼板にも対応可能。
- 3) 片側アクセス。
- 4) 開断面、閉断面の両構造部材に適用可能。
- 5) 継手を自由に選択可能。
- 6) アーク溶接にもかかわらず、溶接ワイヤは不要でシンプル。

開発フェーズ

- ・ 簡易版(予備穴あり)は実用化に向け相談可能。
- ・ 高度版(予備穴無し)は課題があり、研究段階。